

山 河

第45号

一般社団法人

神奈川県森林土木建設業協会



生コンクリート・砂利・砂生産販売

二葉建設株式会社

足柄上郡山北町山北3090-4
山北工場 TEL 0465(75)0611
生コン部 TEL 0464(75)0738
本社 TEL 0550(82)2088

NIHON KIZAI

建設機械・機材・販売、修理、レンタル

NK 日本機材株式会社

・本社 〒250-0863 小田原市飯泉 941-11
TEL (0465)48-2221 FAX (0465)48-2782
・秦野営業所 〒257-0015 秦野市平沢 727-1
TEL (0463)82-3355 FAX (0463)82-2282

建設機械・リース・販売・修理・レンタカー

 株式会社 **ナニー**

山 北 本 社 (0465)76-3415(代)
御殿場営業所 (0550)89-8115(代)
中井営業所 (0465)81-5151(代)
厚木営業所 (0463)90-3415(代)

地域産業と現場を結ぶ型枠工法


カチオンフレーム工法
resource project by **RiSE**

株式会社 ライズ
〒417-0026
静岡県富士市南町 1-20
TEL(0545)55-3910
FAX(0545)55-3920
<http://www.kanbatsuai.jp/>

緑の休暇村青根キャンプ場

川遊びにテニス自然を遊びつくそう

東京から約1時間、奥相模湖の下流に位置する豊かな自然に恵まれたキャンプ場。
場内では川遊びやマスのつかみ取りを楽しもう。要予約制のバンガローは72棟、
オートキャンプも100張可能となっている。フィッシングエリアも併設されている。

神奈川県・旧津久井町
042-787-1380
<http://aonecamp.jp>

住 所: 神奈川県相模原市緑区青根807
アクセス: 中央道相模湖ICから国道20号経由で12km
営業期間: 3/15~11/30 予 約: 申し込みは随時受付
電源サイト・エアコン付きバンガロー有り

【情報】
売店、水洗トイレ、
食堂、シャワーなど
あり、駐車場200台

自然との調和がテーマです

箱根セントラル生コン株式会社

〒250-0631
神奈川県足柄下郡箱根町仙石原1141
TEL 0460-84-7722 FAX 0460-84-8698
業務直通 0460-84-0220

西湖生コンクリート株式会社

代表 取締役 森本 譲

〒250-0863 神奈川県小田原市飯泉1401
TEL (0465)47-3798 FAX (0465)48-7661

 **ピーシーコンクリート工業 株式会社**

P.C. CONCRETE WORK'S CO., LTD.
コンクリート二次製品・バリアフリー製品

本 社: 〒252-0101
(城山工場) 神奈川県相模原市緑区町屋4-29-25
TEL: 042-782-2331
FAX: 042-782-2573
三ヶ木工場: 〒252-0159
神奈川県相模原市緑区三ヶ木1776-2
TEL: 042-784-1028
FAX: 042-784-1062



企画力と価格に自信!

**ホームページ
会社案内制作**

総合広告代理店 **株式会社コンパス**

詳しくは TEL.046-250-1005 厚木市森の里青山14-1
<http://www.e-compass.ne.jp/>

- 各種印刷・デザイン
パンフレット、チラシ
- ホームページ制作
PC・携帯用サイト
- 看板制作
看板、横断幕
- 映像制作
会社PR、製品紹介
- オリジナルTシャツ

たかやま林業・建設業協同組合 長瀬雅彦専務理事に聞く

山本県森林土木建協会会長

森林組合と建設業が森林施設の集約化を進め、作業路網の整備や低コスト木材生産システムの確立を目指して岐阜県飛騨高山地域に設立された「たかやま林業・建設業協同組合」。これまで連携の薄かった林業と建設業が協働して、森林の管理や森林整備・木材生産、それに建設業労働者の林業分野での就業促進など、新たな経済効果を生み出すもので、全国初の取り組み。建設業の複業化推進のモデル事業として注目されている。そこで設立時から活躍している長瀬雅彦専務理事を招き、本

約会」。これまで連携の薄かった林業と建設業が協働して、森林の管理や森林整備・木材生産、それに建設業労働者の林業分野での就業促進など、新たな経済効果を生み出すもので、全国初の取り組み。建設業の複業化推進のモデル事業として注目されている。そこで設立時から活躍している長瀬雅彦専務理事を招き、本

たかやま林業・建設業協同組合専務理事 長瀬 雅彦
(株)長瀬土建(岐阜県高山市久々野町久々野)代表取締役
(一社)高山建設業協会理事
(公社)飛騨法人会常任理事
高山南支部支部長
(一社)神奈川県森林土木建設業協会会長 山本 善一
(株)山善(神奈川県愛甲郡清川村煤ヶ谷)代表取締役
建設業労働災害防止協会厚木分会長会員
神奈川県建設業協会副会長

ているが、何を学んでいるのか?
会長 これから林業協同組合事業をどう考えておられるか?
専務 我々は建設業者であるので軸

毎年2回ほど招き、ヨーロッパ林業の基本的な考え方、技術を学んでいます。ヨーロッパで林業の機械を購入に行つても、「林業の理念を理解していない者は売れない」と断られる。理念や思想を理解することが重要だ

ているが、何を学んでいるのか?
会長 これから林業協同組合事業をどう考えておられるか?
専務 我々は建設業者であるので軸

足は建設業だが、暇なときだけ林業を手伝うというのではダメだということだ。ウチの会社では林業班を作つて専従のチームが当たつている。組合では年間3億円の事業を行なっている。地域に新たな仕事を創つたことは、これが地方創生の一一番初めだと見える。

建設業は若年層の入職が減少しているが、林業はどうか?
会長 建設業は若年層の入職が減少しているが、林業はどうか?
専務 最近は環境・エネルギーに対する興味が増えて、大卒や女性など若い人は建設業に比べるかに入職希望が多い。見習う点多い。

県発注の森林整備の仕事などにある。林建で協力関係を作るにはどうしたらよいか?

建設業の取り合いをするのではなく、新たな地域で協同で仕事をする方策を提案し、お互いのメリットを探り出すことが重要だ。

協働事業のスタートに当たって、①道と森林整備事業、②チップなどのエネルギー事業、③道の整備事業のみの二つの生き方がある

が切れて1週間停電した。そのとき活躍したのが我々だ。従来の維持作業も慣れている。すぐに出動できる体制も出来ている。

会長 神奈川県では箱根大涌谷の噴火で山の工事がストップするなどしたが、岐阜県では災害はあるのか?
専務 每年多く発生しているが、昨年は大雪で、樹木が道路に倒れ、鉄道、国道、県道などが止まり、電線が壊れていた。そのとき活躍したのが我々だ。従来の維持作業も慣れている。すぐに出動できる体制も出来ている。

が、道の整備だけを選択した場合は失敗する例が多い。道を作つて材を売り上げるノウハウが必要だ。日本の林業は生産性主体だが、ヨーロッパは収益性主体だ。持続可能ではなく循環可能を追求している。

会長 神奈川県では箱根大涌谷の噴火で山の工事がストップするなどしたが、岐阜県では災害はあるのか?
専務 每年多く発生しているが、昨年は大雪で、樹木が道路に倒れ、鉄道、国道、県道などが止まり、電線が壊れていた。そのとき活躍したのが我々だ。従来の維持作業も慣れている。すぐに出動できる体制も出来ている。

が、道の整備だけを選択した場合は失敗する例が多い。道を作つて材を売り上げるノウハウが必要だ。日本の林業は生産性主体だが、ヨーロッパは収益性主体だ。持続可能ではなく循環可能を追求している。

この三つを守るにはそこに入れるための道が必要になる。壊れない道づくりを実現することで多面的な機能で、森に親しむことにある。
会長 こうした機能があるという考え方には日本はない。

専務 彼らが重要視しているのは森林機能の多面性で、まず森林の保安機能だ。今回の熊本地震災害対策に繋がるが、森が守ってくれる恵みが一番。二つ目が先人から引き継いだ木材の利用、そして三つ目が保養機能で、森に親しむことにある。

専務 彼らが重要視しているのは森林機能の多面性で、まず森林の保安機能だ。今回の熊本地震災害対策に繋がるが、森が守ってくれる恵みが一番。二つ目が先人から引き継いだ木材の利用、そして三つ目が保養機能で、森に親しむことにある。

側から林業協同組合を呼びかけてきた。そこで内閣府の補助事業を活用して「ひだ林業・建設業森づくり協議会」を発足したのが始まり。その後平成22年に真剣な取り組み姿勢を見せた建設業10社と森林組合1社が現在の組合を設立した。今は建設業者が18社に増えている。

機能をアピールし、収益性を持つ日本林業に変えたい。バイオマス事業でも材料となるチップを運搬する道がなければ収益が上がらない。一度投資すれば後の事業に繋がる。こんな豪雨でも壊れない道づくりが大切だ。

専務 建設業者が造る道は丈夫で壊れないことが実証されている。

専務 神奈川県では、水資源環境税で森林整備を進めていたが、道がないから間引きした樹木を現地に置いておけば、収益が得られる。同じ材価でも日本では道がないから搬出経費に取られ収益が繋がる。同じ材価でも日本では道がない材価自体はヨーロッパと同じで、収益が違う。1万円の木材に4千円の商売にならないといわれているが、価格自体はヨーロッパと同じで、収益が違う。1万円の木材に4千円の搬出経費を引いても6千円の収益になる。同じ材価でも日本では道がないから搬出経費に取られ収益が繋がる。同じ材価でも日本では道がないから搬出経費に取られ収益が繋がる。だから道がないために歓喜がないだけになっている。後のことを考えると路網整備の充実が必要だ。

会長 どんな豪雨でも壊れない道づりが大切だ。

会長 様子を見ながら説明を聽けば、よく理解できると思う。

会長 大歓迎だ。人間の五感が大切で、鳥の声や川のせせらぎを聞き、緑の森を見ながら説明を聽けば、よく理解できると思う。

会長 お忙しいところ、ありがとうございました。

「神奈川県の治山・林道事業の取組について」

神奈川県環境農政局
緑政部森林再生課長 濱名成之



神奈川県森林土木建設業協会の皆様には、本県の治山・林道等森林土木事業の推進にあたり、平素から多大なる御支援と御協力をいただき、心より感謝申し上げます。

神奈川県では、組織の総合力を高めるため、4月に部課の再編を行い、旧水・緑部は、自然環境保全課・水源環境保全課・森林再生課の3課により緑政策となりました。今後、一層の業務スピードの向上を図り、課題に取り組んでまいります。

さて、本県では、良質な水を安定的に確保するため、平成17年度に策定した「かながわ水源環境保全・再生施策大綱」に基づき、平成19年度から水源環境の保全・再生に取り組んでいます。この取組を進めるために重要なものの一つが、治山や林道などの基盤整備事業です。本県で治山事業が本格的に始まつたのは、大正12年の関東大震災の復旧からであり、以降、治山

近年では、平成22年の台風豪雨による災害復旧など危険度の高い箇所から優先的に取り組んでおり、水源かん養や土砂流出防止等公的機能の高い森林の維持造成を行っています。

また、林道事業は、効率的な林業経営と適切な森林管理を行うための基盤として、これまでに215路線、延長599kmの整備を進めしており、林道密度は7.1m/hで、全国平均より高い密度となっています。特に近年は、間伐材の有効活用など、森林資源の循環による適正な森林管理を進め、将来にわたり神奈川の水源環境を保全していくうえで、その基盤となる林道は欠かせないものとなっています。

かながわ水源環境保全・再生の取組は、今年度第2期実行5か年計画の最終年を迎えます。そこで、現在、平成29年度からの第3期実行5か年計画の策定作業を進めていくところですが、昨今の集中豪雨等による土壤流出や崩壊地に対する取り組みで、森林の維持造成が急務となっています。そのためには、計画的に利潤を得ることができる受注が大前提であります。

世に言う「景気の回復」は、建設産業界において、あまり感じないというのが実感である。治山工事事業を生業とする我々にとって、冬の時代の影響でまだまだダメージの回復まで時間がかかると思われる。しかし、地域で活きる我々建設業者は地域防災の観点からも未来永劫、生業を続けていかなくてはならない責任がある。

そのためには、計画的に利潤を得るために各社とも有能な土木技術者や作業員の確保が急務となっている。だが残念なことに建設業に集まる就業希望者は年々減少している。また、希望者（特に新卒）に関しては、我々中小建設業者へは皆無といつても過言ではなく、深刻な状況になっている。

全森建として、全国の協会と連携し、大学・専門学校・工業高校との懇談会や発注官庁との協議により現状の打開を要望したい。

県職員時代の思い出

神奈川県森林協会専務理事 野口 高



(一社) 神奈川県森林土木建設業協会の皆様には、森林協会の賛助会員として多大なご支援をいただき誠にありがとうございます。この紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、私ごとですが昨年三月に県を退職しました。県職員の振り出し

は、昭和四十八年に津久井合同庁舎にあつた津久井農林商工事務所林務課治山係でした。入庁から八年間治山事業を担当し、以後、退職するまでの四十二年間の内、県庁時代も含めてちょうど半分の一十一年間森林土木事業関係に携わさせていただきました。

入庁直後は、仕事の大部分は先輩のお手伝い。現場ではボール、巻尺持ち、事務所内では、図面の青焼き、図面折り、単価抜き、治山台帳の作成等が主な仕事でした。当時は、設計書もすべて手作りで単価をいちいち調べては単価表を作成し、図面から数量を拾い明細表、本工事内訳表等すべて計算機を叩き作成し

技術研修会

神奈川県森林協会(会長：小林常良・厚木市長)

県庁時代には、林野庁の方と話をすする機会を多く持つよう心がけました。メールでやり取りする時代ではなく、常に書類や資料の提出等は霞が関に持参し、いろいろな話をさせていきました。県の予算事情、教科書どおりではない災害予算の取り方や会計実地検査の予定等々。霞が関に行行った時は、用もないのに各係を「神奈川県ですが」と言つてはいました。退職した昨年七月、千葉県で開催された「関東甲静地区治山林道連絡協議会」で、お世話になつた林野庁幹部にお会いし、夜は昔話に花を咲かせ懇親を深めさせていただきました。

森林を守り、適切な管理を行つた。



めには、治山施設や林道は欠くことの出来ない施設です。それらの施設の効果を最大限に發揮するには、山岳地や急斜面での作業に精通している協会員の方の力が必要です。今後もこれまでに培ってきた技術で神奈川の森林づくりに貢献していただくことを期待しております。

主なテーマは次の通り。

- ① 完成検査時の破壊検査簡素化
- ② 小型特装車運搬の積算基準改訂要請
- ③ かご工における築立て敷き並べ費用の計上
- ④ 砕石等資材運搬費の割り増し
- ⑤ 設計書と乖離した現場状況への対応
- ⑥ 樹木伐倒後の場内運搬等片付け費用計上
- ⑦ 人肩運搬歩掛り改訂要請の推進
- ⑧ 山林砂防工の適用拡大要請

応するため、第3期計画では新たに土木的工法も取り入れた森林の土壌保全対策を強化していくことを検討しています。こうした新たな対策における土木的工法や、治山・林道事業等の実施においては、森林土木技術に

精通した神奈川県森林土木建設業協会の皆様のお力添えが欠かせないものと考えています。今後も引き続き、本県の取組について御協力いただきますようお願い申します。

林野庁に対する要望

当協会から全国森林土木建設業協会を通じて次のとおり林野庁に要望しました。

世に言う「景気の回復」は、建設産業界において、あまり感じないというのが実感である。治山工事事業を生業とする我々にとって、冬の時代の影響でまだダメージの回復まで時間がかかると思われる。

しかし、地域で活きる我々建設業者は地域防災の観点からも未来永劫、生業を続けていかなくてはならない責任がある。

そのためには、計画的に利潤を得ることができる受注が大前提であります。

そのためには、計画的に利潤を得るために各社とも有能な土木技術者や作業員の確保が急務となっている。

だが残念なことに建設業に集まる就業希望者は年々減少している。

また、希望者（特に新卒）に関しては、我々中小建設業者へは皆無といつても過言ではなく、深刻な状況になっている。

全森建として、全国の協会と連携し、大学・専門学校・工業高校との懇談会や発注官庁との協議により現状の打開を要望したい。

「20年で変わったこと、800年で変わらない「武士」の精神 県央地域県政総合センター 森林土木課 牧 三晴

育休の抱負－森林土木事業に従事して－

湘南地域県政総合センター 森林課 杉本健輔

先日、NHKスペシャルの作家・司馬遼太郎の「武士」をテーマにした特集を見ていました。「日本人特有の倫理観は世界中のどこにもない」「それらは、鎌倉武士のモラルであつた『名こそ惜しけれ』という武士の価値観・精神であり、今も一部のすがすがしい日本人の中に生きている。」というものでした。その例として、あの3・11東日本大震災の直後の配給に整然と列を作つて並んでいた被災地の方などが紹介されていました。

とにかく真面目で、私利私欲を戒め、名を汚すような恥ずかしいことはしない、というのが日本人独特の価値観・倫理観。皆さんにも思ひ当たるふしがあるのではないでしょうが。春夏秋冬、暑い中も凍てつく中も、危険と隣合わせにして現場で日々格闘されている皆さんの姿、治山ダムや舗装や法面を規格どおりに作り、工作物の直線や平面をきれいに仕上げる仕事ぶり、安全に工期内に仕事を完成させる姿勢などなど。そこに、800年も変わらずに息づいている「武士」の精神を見る思いがします。

今年は、3・11東日本大震災、原発事故から5年になりますが、被

災者や原発からの避難者はまだまだ大変な生活を強いられています。世界中至る所で起る地震やハリケーン、大寒波などなどがたびたび報じられます。皆さんの身近なところでは、頻発するゲリラ豪雨や、数年前の大雪などがありましたが、これらは、地球規模の気候変動の証している。また、新聞・テレビでは想像もできないような恐ろしい事件が毎日のように報道されています。地球も人間もすっかり変わってしまつたのでしょうか？

私が治山事業を担当していた20年位前はバブル景気華やかな時代。その後、時代は右肩下がりになり、予算・人員の削減が進み、治山・林道の事業量も職員数も大幅に減り仕事のやり方もすっかり変わりました。しかし、「武士」の精神は、800年も生きているといいます。

今は、皆さんにどつても課題の多い厳しい状況にあると思います。大変な時代、誰もが答えを探していると思います。打開策のヒントになればと思い「武士」の精神を紹介してみました。それぞれの持ち場で、力を発揮していくことはできません。

①たくさん野山に出かける。（子供のセンス・オブ・ワンダーには本当に感心します。四季を通じて色んなものを見て、一緒に小さなモノゴト一つ一つに感動できたら良いなあと思います。）
②樹木の名前・性質を覚える。（恥ずかしながら、広葉樹の判別が苦手です。息子に負けないように頑張ります。）
③家の中の整理整頓に努める。（親の背中を見て子は育つ、と言います。自分は片付けが苦手ですが、息子には「片付けができる人」になつて欲しいです。）
④両実家に頻繁に顔を出す。（孫の顔を見せるのが最大の親孝行らしいです。）
⑤鹿を獲る。（県内各地で鹿の増加による被害が問題となっています。）

農業免許を取得したので、フレキシブルに動ける育休期間を活かして、微力ながら農業・林業被害対策に貢献したいと考えています。
⑥地域の方々との繋がりをつくる。（子供を連れて歩いていると、よく近所の方が話しかけてくれます。普段は接点が少ないので、育休中は繋がりをつくるチャンスかと。）
⑦一緒に大山登頂。（2歳半くらいになつたら、どこまで行けるか挑戦してみようかと考えています。もちろん抱っこ無しで。足腰の強い子に育つて欲しいです。）
等々。。。育児と関係ない内容もありますが、淡淡と家事・育児をこなして終わり！ではなく、息子と一緒に色々なことに挑戦して、充実した1年間にしたいと思います。

県西地域県政総合センターの林道の状況について

神奈川県県西地域県政総合センター 森林土木課 星澤 信彦

県西地域県政総合センターは、神奈川県の西部に位置する2市8町を管轄し、その行政区域面積は、約6万3千ヘクタールとなっています。

当センターは、平成24年度に足柄上地区と西湘地区の2事務所を統合して設立されたもので、県内では最大の管轄区域を持つ事務所となり32路線207kmの林道を各地域の建設会社のお力添えをいただいて、管理しています。

特に近年の集中豪雨や台風時の法面崩落・施設災害においては早急な林道の復旧にお力添えをいただき大変感謝しています。

当センター管理の林道は、20路線

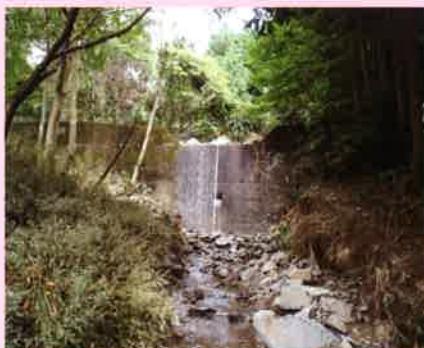
が昭和30年代～50年代に開設着手した路線であり、このため、開設と同時に設置された橋梁が多数あり、これらの古い橋梁の維持管理が今後の課題となっています。また、トンネルの一部には素掘りのものがあり通行の安全確保についても課題になっています。

今後は、これらの課題の維持工事及び法面の安全対策工事等を行い災害に強い林道に取り組んでいきたいと思います。

これからも、協会員の皆さんには森林土木事業のプロフェッショナルとしてお力添えをお願いいたします。

広島県豪雨災害と協会員による災害防止パトロールについて

今年の冬は暖冬ということもあり、ここ神奈川県では大きな積雪もなくおだやかな冬を越すことが出来ました。そんな中、広島に住む友人から「うちの裏山に災害防止用のちいさなダムができるんだ」という話を耳にし、さつそく広島県協会へ情報を求めてみました。



土砂を止めた災害直後のえん堤



更に嵩上げし完成した治山ダムえん堤

(情報協力) (一社) 広島県森林土木建設事業推進協議会・(一社) 全国森林土木建設業協会

（写真提供）(一社) 広島県森林土木建設事業推進協議会・(一社) 全国森林土木建設業協会

舗装、法面、治山施設の状況をチェックし、定期的に所轄へ提出する取り組みとともに、市街地工事とは異なる急峻な地形の現場での技術力で地域の安全を目指していきたいと考えております。

私ども神奈川県協会は、平成24年3月神奈川県知事との、災害防止支援活動に関する協定を結び、自主的なパトロールをおこなっております。



復旧治山事業・細川沢治山工事

株式会社 下田組 会田竹彦



本工事は、神奈川県西部足柄上郡山北町中川地内で荒廃している渓流において、渓床堆積土砂の固定、縦横侵食の防止を図るために「治山ダム」を施工し土砂流出防備を図る工事です。近年の台風災害により上流部の山腹崩壊・渓岸浸食が拡大しており、渓床内には不安定土砂が堆積しているため、下流部には集落や県道があり土砂崩壊の拡大により不安定土砂が土石流化し、被害を招く可能性があるため、平成24年度工事より実施している事業です。弊社は平成25年度工事から平成27年度工事を受注しており、私が現場代理人として担当してから今期で3年目になりました。治山ダム工のコンクリート谷止工を上流より下流に向けて25、26年度各2基、今回27年度1基他それに附随する工事を遺らせて頂きました。コンクリート谷止工間の距離が30mから35mと25年度工事箇所よりも度各2基、今回27年度1基他それに位置するだけなのに渓流地形により、現場状況が変わるため工事施工内容的には変わらないのですが、仮設ヤード、作業スペース等の関係と台風・大雪・豪雨等天候にも左右され、例年同じようにはいかないと言ふ感じたことです。

本工事は、前年、豪雨により出水、土砂流出、沢下流部の崩壊及び、民家の災害をもたらした沢の上流部に谷止工を整備する仕事でした。沢幅は狭く、また現場への進入路は既設農道を利用するため、小型車両に限られた施工となりました。現場に向かう沢筋は豪雨によりはぎとられ、その土砂の堆積によりさらには広範囲に傷付くという状態でした。このような状況の中、三カ所のうちの上流部の谷止が完成し、二カ所目の施工中に大雪に見舞われ、進入路の倒木処理、除雪、現場内では除雪はもとより、倒木による型枠の破損修理等、人力が主体の対応が続きました。その後は降雪への対応等ありました。それが集合し一晩で木が倒され人工物が被災。自然の威力を痛感しました。

最初は一滴の雨粒。それが集合し一晩豪雨に見舞われ土砂の崩壊、民家への災害。一つの雪の結晶体。それが集合し一晩で木が倒され人工物が被災。自然の威力を痛感しました。

治山工事に従事して

宮嶋建設株式会社 磯崎好孝



今回の工事は、環境対策を特に重点的に推し進めて工事を行うことを重要とし工事の施工をして参りましたが、今期27年度も3月末完成で工事を進めているところです。そこで、最終最後まで気を抜かず工事を無事故・無災害で終わらせたいと思います。

本工事はノンフレーム工法と呼ばれる法面安定保護緑化で現況法面形状のまま施工する工法でアンカー間をワイヤーで繋ぎ止め法面安定させることによって災害を最小限に治めることは不可能ではありません。

今回現場の状況に柔軟に対処して頂いた発注者監督員、工事に協力して頂いた近隣住民の皆さんに心から感謝するとともに、森林土木課皆様から頂いたアドバイス、工事完成後に会った近隣住民の方の笑顔を忘れず、今後の施工を進めていきたいと感じています。

山本会長らを再選 いのち貢献度入札の指名に期待 第52回総会



当協会は昨年5月、箱根湯本の旅館「吉池」で第52回総会を開催し、平成26年度事業などを承認するとともに、山本会長（顔写真）を再選した。山本会長は、「協会創立50周年を越え、明るい方向に潮目が変わった。当協会は県と災害協定を締結するなど、一般社団法人として社会的責任のある団体である。我々がいなければ山の工事はできないと言える立ち位置に達するよう頑張ろう」と新たな意欲を示した。

議事では、平成26年度事業と決算が可決承認された後、任期満了に伴う役員の改選で、山本会長（山善）が再選されたほか、副会長に斎藤氏（斎藤組）と勝俣氏（箱根建設）が選出された。

27年度事業計画と予算の報告では、会長が自ら重点事業を説明し会員の理解を求めた。それによると重点項目は、①災害防止活動②会員の拡大③県環境農政局との意見交換

会・技術研修会④会員交流⑤会報ホームページ⑥委員会活動など。特に今後各支部で災害協定を締結するなど、いのち貢献度指名競争入札で多くの協会員が指名されるよう体制づくりを強化するとしている。

平成26年度野尻治山工事

株式会社 山本組 内田正一



今回の工事は、保護現場状況が隣接上部に住家屋、下部直下に湖といふ出来ない環境でした。

したがって、資機材の搬入計画から検討し隣接住居に影響しない、まことに重要な水源地域となるので、当作業所としては工事を行うことを重要とし工事の施工をして参りましたが、今期27年度も3月末完成で工事を進めているところです。そこで、最終最後まで気を抜かず工事を無事故・無災害で終わらせたいと思います。

本工事はノンフレーム工法と呼ばれる法面安定保護緑化で現況法面形状のまま施工する工法でアンカー間にワイヤーを張るのは大変でした。そんな中、無事故・無災害で工事を完成できたことに安堵したのを覚えていました。また完成に当たり発注関係者ならびに近接住民の皆様また関係業者の方々に深く感謝いたします。

最後に森林土木の工事に従事するに当たり環境保護・保全に留意しながら努めていきたいと思います。



新役員は次の通り。（敬称略）

△会長＝山本善一（山善）

△副会長＝斎田正志（斎田組・上支
部長）、勝保昭彦（箱根建設）

△理事＝内藤臣子（内藤建設）、田
代房男（静和建設）、柏木聰（三
恵総業）、渡邊徹（渡辺組工業・
中支部長）、川久保暉勇（川久保
組）、勝俣徳彦（勝俣組・下支
部長）、落合康弘（落合組）、落合
正広（清川建設）、高崎久幸（高
崎建設・県央支部長）、小山和男
(小山設備)

△監査＝磯部春男（磯部組）、上村
利昌（上村興業）、山本国孝（山本組）

△相談役＝高崎徳一（高崎建設）、
山本国孝（山本組）

△事務局＝滝澤庸子

通常総会に先立つて、優良現場代理人
6人を表彰した。高崎技術委員長は受賞
者に対し、「厳しい自然条件と危険な作
業が伴う森林土木工事で、素晴らしい実
績を残されたことは、仕事に対する熱意
と努力の賜物である。今後も他の模範と
なるよう魅力あふれる森林土木技術の向
上のために活躍してほしい」と要請した。
受賞者は次のとおり。（敬称略）

安藤真哉（加藤工務店）、宮嶋正典（宮
嶋建設）、新井道昭（渡辺組工業）、鈴木
大輔（箱根建設）、山本国孝（山本組）、
小野祐次（平井工業）

上支部	東栄建設(株)	下支部	大野土建(株)
㈲池谷建設	東海林工(株)	㈱秋山組	㈱落合組
㈲井澤組	㈱内藤建設	㈲石川建設	㈱菊地原建設工業
石井建設(株)	㈱永田組	㈱勝俣組	㈱清川建設
㈱磯部組	㈲野木建設	㈱川久保組	㈲小島建設
今泉建設(株)	㈱深瀬組	三和建設(株)	㈲小山設備
㈱荻野工業	㈱松永組	湘山開発(株)	佐藤建設(株)
㈱加藤組	宮嶋建設(株)	箱根建設(株)	鈴木土建(株)
㈱加藤工務店	㈲斎田組	㈲三浦組	㈲芹沢土建
金子建設(株)	㈱山崎組	讓原建設(株)	高崎建設(株)
健伸工業(株)	㈱湯川組		平井工業(株)
中支部	県央支部		
㈲酒匂土木		㈱朝倉建設	㈱星建設
三恵総業(株)		安西興業(株)	㈱山善
㈱下田組	上村興業(株)	大野建設(株)	㈱山本組
㈱鈴木土建工業	㈱興栄建設		
静和建設(株)	㈱坂本組		
㈱滝本土建	㈱杉山土建		
㈱田代組	㈱渡辺組工業		

〒252-0155 神奈川県相模原市緑区鳥屋2878
(一社)神奈川県森林土木建設業協会
担当事務局:滝澤庸子
TEL:080-1287-4477 FAX:042-785-0512
sdkanagawa@kbf.biglobe.ne.jp
<http://kanagawa-shinrin.com/>

優良技術者らを表彰



記念撮影に収まる優良技術者ら

ホームページを開設！



<http://kanagawa-shinrin.com/>

当協会のホームページが開設されます。
協会の活動内容やお知らせなどが分かりやすく編集されています。
一般の方々や、会員の皆様に親しまれ、役に立つホームページを目指しています。
また、会員のページでは、会員の近況やご提案、ご要望を寄せる場もあります。
フェイスブックでは皆さんの近況やご提案、ご要望を載せております。

今号も森林土木の現場で奮闘する担当者達の生の声に接することが出来ました。山の恵みに感謝しながら道を作っている「たかま林業建設業協同組合」専務理事の言葉に、心が表れる思いになりました。ご協力して頂きました皆様に改めて感謝申し上げます。



今号も森林土木の現場で奮闘する担当者達の生の声に接することが出来ました。山の恵みに感謝しながら道を作っている「たかま林業建設業協同組合」専務理事の言葉に、心が表れる思いになりました。ご協力して頂きました皆様に改めて感謝申し上げます。

編集後記